「アドレナリン」ハ血管ヲ狭窄シ、コノ爲ニ血管が遅クナル。

血行が徐々ニナルト血小板ノ凝集ハ容易ニナル。カクシテ其處ニ血栓ヲツクル。コノ結果一定ノ限局サレタ範圍ニ榮養障碍ト組織崩壊が生ズル。組織崩壊ハ炎症性ノ分離層ヲ境サレ、此處カラ化膿が起リ崩壊セル組織ハソノ健康ナ基底部分カラ排除セラレル。

注射麻酔ニヨル粘膜壞死が栓塞性靜脈炎ノ結果デアルト云フ我々ノ推測ハ次ノ觀察ヲ確メラレタ。1) 潰瘍ハ常ニ周圍が明瞭ニ境サレテキル。2) コノモノハ深部ヘ向ツテ漏斗狀ノ狹窄ヲ示シテキル。3) 既往症ニヨリ常ニ先行性出血ヲ確メ得ル。

組織學的所見ニヨリ我々ノ推察が確證サレルナラバ次ノ様ナ結論ニ達スルデアラウ。即チ注射麻酔ニヨル壞死ハ注射液ノ種類ノ如何ヲ問ハズ、穿刺ニヨリ血管壁が損傷サレル時ニ發生スル。注射ヲ行フ場合ニハ穿刺後注射筒ヲ吸引シテ針が血管腔ニ入ツテキヌカドウカラ確カメテ行フベキデアル。ソウスル事ニヨリ少クモコノ不快ナル注射麻痺後ノ壞死ノ一部ヲ防グ事が出來ル。

(太田實)

保存療法科

銀「ポイント」ニ依ル根管充填

Filling root Canals with silver points.

Dr. Grossmann. (1936 No. 7. Dental Cosmos)

金屬ニヨル根管充填ハ約100年前ニ Maynard 氏等が金箔ヲ以テ根管充填セルニ始マリ次テ錫箔が代用セラレ1847年頃ニハ「ガツタパチャ」が齒科界ニ紹介セラレタノデアル。

Trebitsch 氏ハ銀「ポイント」ヲ紹介シ1933年ニ Jasper 氏ハ之ヲ推奨シ此ノ殺菌作用ハ電氣源ノ電位差ニヨルモノト述べ、次テ1936年 Strean 氏ハ銀「ポイント」ノ極微動作用ヲ報告シ此ニ殺菌作用ハ銀ノ極微動作用ニヨルモノデ試験管内ニ於テハ純銀ハ殺菌作用アリト云ツテ居ル。而シテ極微動作用ト云フ言葉ハスキスノ植物學者 Naegeli 氏が稱ヘ初メタノデアル。

銀ハ黴桿菌ニ對シ約1.5cm 直徑ノ菌發育防止層ヲ作り、Leist 氏ニヨレバ銅が最大ノ防止度ヲ示スト云フ。齒科用材料ノ極微動作用ハ W. D. Miller 氏ニヨリ實驗サレタ。最近ニ Trebitsch 氏ハ銀粉ヲ「セメン

ト」又ハ糊劑ニ加ヘテ銀「ポイント」ヲ根管ニ固著スル法ヲ考ヘ極微動作用ノ增強ヲナシ、pioromski 氏ハ銀「ポイント」使用前12—14時間過酸化水素水ニテ處理セシニ殺菌作用增強セシト云フ。

然シ吾人ノ生體組織ニ對スル銀ノ殺菌作用ノ明確ナル實驗ナキ故ニ其ノ作用ハ疑問デアアルが根管充填材トシテ「ガツタパチャ」ヨリ硬度アリ屈曲セル根管ニモヨク適合シ且軟靱デアアル等ノ特長ヲ有スル故ニ根管充填材トシテノ所用性質ヲ銀「ポイント」ハ完全ニ所有シテ居ル。即チ次記ノ如ク諸條件ヲ満足スル。

1. 「ガツタパチャ」ヨリ容易ニ狭キ屈曲セル些細ナ根管ニ填塞出來ル事。2. 根管「セメント」ヲ用フレバ確實ニ根管側面ヲ封緘スル事が出來ル。3. 收縮性ナキ事。4. 溫氣ニ對シテ完全ニ排水性デ又僅カノ溫氣デハ障碍トナラヌ事。5. 細菌ノ發育ヲ鼓舞セズ之ヲ防止スル。6. 「セメント」, 「ポイント」共ニ根端組織ヲ刺激スル事ナシ。7. 「ガツタパチャ」ヨリ放射線ノ透過性大ナル事。8. 正シク用フレバ齒牙組織ヲ變色セズ。9. 「アルコール」火炎上ヲ通過セシメテ早く完全ニ消毒出來ル事。10. 必要アラバ根管ヨリ除外スル事が簡單ニ出來ル事。等ノ特長アリ。此ノ「ポイント」ハ18—32番ノ純銀線ヲ $\frac{3}{4}$ — $1\frac{1}{4}$ inchノ長サニ切りニツノ「サンドペーパーダスク」ノ面ト面トノ間デ錐狀ニ形成シ、更ニ取扱ヲ輕便ナラシメル爲ニ太キ端ヲ鉗子デ扁平ニスル。

「ポイント」ニハ形態的ニ三種アル。1) 錐狀デ末端扁平ノモノ。2) 桿狀ノモノ。3) 針樣ノモノデアル。「ポイント」ハ「セメント」ノ運搬ト根管容積ヲ充填スル心髓トシテ働クが「セメント」ハ眞ノ根管閉塞物トシテ働ク。「セメント」ニ就テハ Stein 氏ハ「ヨードホルムセメント」ニ銀粉ヲ加ヘ、Schob 氏ハ酸化亞鉛銀粉又「オイゲノール」ヲ用ヒ、Straess 氏ハ酸化亞鉛次硝酸蒼鉛「チモール」, 「オイゲノール」等デアアルが磷酸又ハ鹽酸「セメント」ハドチラモ推奨出來ヌ。其ノ理由ハ根端孔ニ完全ニ適合シテモ刺激作用ガアルカラデアル。

次記ノ放射線ノ透過性銀「セメント」ハ臨牀上良結果ヲ得タト云フ。

粉末	沈澱銀(化學的純)	2分
	粉樹脂	3分
	酸化亞鉛(化學的純)	4分

液	{「オイゲノール」	9分
	{4%鹽化亞鉛液	1分

(使用前振湯スベシ)

沈澱銀樹脂が不純アツテハナラス。「セメント」ハ混和シテ後30分間ハ放置セネバナラス。又固著ニハ6—8時間ヲ要スト云フ。

根管充填ニ際シテハX線圖上ニ於テ根管ノ概形ト比較シ「ポイント」ヲ消毒シテ根管中ニ差込ミ若シ尖端ガX線圖上テ突出シタナラ其ノ部ヲ切除スル。針様「ポイント」ヲ用フル時ハ孔ニ眞鍮線(30番)ヲ通シテ除去ヲ容易ニスル。

混和ニ際シテハ石板ト「スパチュラ」ハ「アルコール」テ充分洗ヒ使用前ニ煮沸シ之ヲ冷却シテ後使用ス。若シ熱アレバ「セメント」ノ硬化ヲ妨ゲルガ之ニ反シテ寒濕ハ之ヲ速カニスル。圖ラズモ根管ニ僅カノ濕氣ガ在ルナラバ硬化又ハ粘著ノ障礙トハナラナイ。

「セメント」ハ根管中ニ「ポンプ」作用テ送入シ次テ「ポイント」ヲ送入ス。若シX線圖上テ根端字ヨリ突出シタ時ハ撤去セネバナラス。

「セメント」ノ過剰部ヲ除去スルニハ「クロ、ホルム」ヲ浸シタ線球ヲ以テ除去スル。若シ水洗スルナラバ粘着性ヲ増加シテ除去ヲ困難ナラシメル。

「セメント」ハ「アルコール」ニ適度ニ溶解シ「クロ、ホルム」,「キシロール」ニハ易溶デアル。

著者ハ現今ニ於テハ此ノ銀「ポイント」ガ最も具合ノヨイモノト信ジテキルガ、今後ナホ良イ根管充填ニ發達シテ行ク事ヲ望ンデキル。(伊藤正)

補 綴 科

困難ナル局部印象

The Difficult Partial Impression.

by James Stedman, D. D. S. Lockhart, Texas.

(Dental Digest, April.)

下顎ノ印象採得ヲスル場合非常ニ困難ナ例ニ遭遇スルコトガアル。カ、ル例ハV字形顎ニミラレル即チ尖リ顔、口ノ小サイ人ニミラレル。他ノ困難ナル原因ノーツハ齒ノ形態及ビ齒軸ノ傾斜ノタメニ「アンダーカット」ノアル場合デアル。次ニ余ノ最近遭遇セル例7651156ノ缺損齒嚥ノ印象採得ニ就テ述ベル。

方法

1) ニツノ別々ノ偏側義齒ヲ作ル知ク下顎左右兩

側ノ印象ヲ別々ニ Hydrocolloid material テ採得ス。

2) 下顎ノ淺イ「モデリング」印象ヲトル。(小サナ「トレ」ニテ少量ノ「モデリング」テ充分デアルカラ小サナ口腔ニテモ容易デアル)。

3) 上顎ノ「スナップ」印象ヲ「モデリング」テ採得、中心咬合テ「ワックス」ノ咬合採得ヲ行フ。

4) 1)ノ偏側印象ニ「ストーン」ヲ流シ、コレ等ノ「ストーン」模型ヲ2)ノ淺イ「モデリング」印象ニハメ、額ヲツケテ石膏ヲ流シ同時ニ3)テ得タ印象ニモ石膏ヲ流シ上下顎ノ模型ヲ得。

5) 3)テ得タ「ワックスバイト」ニヨリ咬合器ニ模型ヲ装着ス。

6) 偏側斷片4)ニ於テ「ストーン」ヲ流シタ部分ノ各々ニ「ベースプレート・サドル」ヲ作ル。ヨク適合シテ外形線ヲ整ヘ裏側ニ「シート・ワックス」ノ裏装ヲ行ヒ模型ノ上ニ返ス。「クラスプ」ヲ製作シテ「ベース・プレート」ニツケル。

7) 陶齒配列ヲ行ヒ偏側義齒ヲ「ワックス」ニテ完成ス。

8) 偏側義齒ヲ口腔内ニテ咬合及ビ鉤ヲ試適ス。充分ナラ口腔外ニ取出シ6)テ裏装セル「シート・ワックス」ヲ剥グ。Corrective impression Pastesヲネツテ「シートワックス」ノ代リニ置イテ口腔ニ返ス。Pasteガ硬化スル迄中心咬合ニ止メル。充分ナル硬化ヲマツテ過剰部ヲ鞍部ヨリ除去ス。

9) 此ノモノヲ口腔内ニ装着セルマ、更ニ上カラ軟イ石膏テ下顎印象ヲ採ル。此ノ印象ハ舌側、咬合面ノミ必要ニシテ、頬側ハ必要ナイ。印象ヲ外ス前ニ頬側ノ過剰部ヲ除去ス。口外ニ取出シタラ「トレ」上テ石膏印象ヲ集メ偏側斷片ヲ適合シ額ヲツケテ「ストーン」ヲ流シ模型ヲ得。

10) 咬合器ヨリ下顎原型ヲ取外シ新模型ヲ正シクツケル。

11) 模型ヲ咬合器ニツケ、「リソナルバー」ヲ設計ス。

12) 其ノ後ハ通法ニ從ツテ行フ。

註、此ノ方法ノ記載ハ一見シロ手間取ル如クミエルカモ知レヌガ實際ニ臨牀テ全顎ノ印象ヲ採得スルヨリハ僅小ナル時間シカ要シナイ。實際ニ口腔ノ小サイ場合トカ不規則ナ齒列ノ場合時間が節約サレル。ナントナレバ正確ナル印象ヲ得ルト云フ問題ガ單純化サレルカラデアル。(中島政彦)